

令和4年度 良質米麦安定生産技術 オンライン講習会

視聴無料

一般社団法人 北海道農産協会

○配信先 : 一般社団法人 北海道農産協会ホームページ

○配信期間 : 令和5年1月25日から順次掲載する予定です。(4月末終了予定)

※正式日程は本会ホームページでお知らせします。

アクセスはこちら

<https://hokkaido-nosan.or.jp/>



■米穀

令和4年産北海道産の米穀については、前年産並みの低たんぱくで高収量である良好な産年でありましたが、一部地区では倒伏や雑草の発生や、いもち病も見られ課題も残りました。

本講習会では令和4年産作柄を踏まえた基本技術と、肥料高騰に対応した技術対策、いもち病対策について解説します。

○令和5年産良質・良食味米の安定生産に向けて(二部構成)【講師:北海道 技術普及課】

「第一部 令和4年の作柄と技術対策」

「第二部 肥料高騰・いもち病対策」

■小麦

令和4年産秋まき小麦は、起生期以降、高温で生育が進み出穂期は早まったものの、出穂後の低温で開花が遅れた地域が見られました。最終的な穂数は平年並、成熟期、登熟期間も平年並でしたが、地域によっては倒伏が見られました。全道的な収量は平年を下回り、開溝未熟粒が見られるなど細麦傾向で製品歩留、外観品質が低下した地域もありました。

そこで、令和4年産の秋まき小麦の収量、品質低下要因を整理するとともに、その対策について解説します。また、小麦の需給状況について情報提供します。

○「令和4年産 秋まき小麦総括」

～ 作柄から見えた課題と対策 ～

【講師:北海道 技術普及課】

○「小麦をめぐる情勢について」

【講師:ホクレン麦類課】